

Dグループ



Dグループの意見整理

D 発表内容

- 市外を含め多くの人に来てほしい
- 走り回ったり、高台から草すべりをするなど子どもがのびのびと遊べる公園
- 駐車場は必要
- 風が気持ちいいので外周にジョギングコースを設け、木陰で休憩できるようにしてほしい
- サッカーの練習場などのスポーツ施設がいいのではないか（ナイターや全天候型も視野に検討）
- 災害時のための施設も設置

全体

- 子供たち、若い夫婦、高齢者など多くの人に利用してもらえる公園としたい
- 施設配置を工夫し、安全に利用でき、世代間の交流を育めるような公園としたい
- 子どもたちが走り回ったり、体を動かして遊べるようにするのがよい
- ゲートボール場は残したい（移設も含め）
- 市民の健康のためにウォーキング、ジョギングなどができるとよい
- 様々なスポーツができるようにするとよい
- トイレや駐車場は必要である
- せせらぎ水路や巣南グラウンドなどと一体的に利用できるよう検討する
- 災害時のことも考え、避難所や設備を考える必要がある



かわら版

瑞穂市
《仮称》中山道大月多目的広場 市民ワークショップ
第1回市民ワークショップ

第1回ワークショップを開催しました！

瑞穂市では、市役所巣南庁舎や西部複合センター、アクアパークすなみななどの周辺に立地する公共施設と連携した、市民の交流拠点となる《仮称》中山道大月多目的広場（愛称）かきりんパークを新たに整備することを計画しており、整備計画を策定するにあたり市民の方の意見を反映するため、市民ワークショップを開催いたしました。



広場計画地の概要

今回、整備を計画する《仮称》中山道大月多目的広場は、西地域の太月地区にあります。瑞穂市役所巣南庁舎の南側に位置し、計画地の東隣には西部複合センター、県道156号線を挟んだ向かい側には巣南中学校があります。また、旧中山道が計画地の周辺を通過していたため、中山道跡地記念施設が整備されています。



第1回ワークショップの概要

- 日時 平成30年5月26日（土）
13:30～16:30
- 場所 西部複合センター
- 参加者 21名
- 内容 次のとおり

第1回ワークショップでは、瑞穂市の現状や公園づくりの基本的な内容を学び、現地を実際に見に行きました。そのうえで、参加者の《仮称》中山道大月多目的広場整備に対する夢や思いを話していただきました。

- ～開会～
1. ワークショップの概要説明
 2. 基本的なことを学ぼう！
(1) 瑞穂市の計画について知ろう
(2) 瑞穂市の現状を知ろう
(3) 大月広場について知ろう
(4) 公園づくりの決まりごとや費用について学ぼう！
 3. 現地を歩こう！
 4. 意見交換 ～夢や思いの共有～
 5. その他
- ～閉会～



第2回ワークショップの内容（予定）

- 誰に何のために来てもらう？（コンセプトとターゲット）
- 平面模型にレイアウトしてみよう（施設、園路、樹木など）
- 周辺施設と手をとりあおう
- どうやって整備や管理をする？
- 「かきりん」を活かそう！



《仮称》中山道大月多目的広場整備に関する意見がありましたら、下記までお寄せください。

【問い合わせ先】

〒501-0392 瑞穂市宮田 300 番地 2 瑞穂市役所巣南庁舎 生涯学習課 担当：児玉、馬淵
TEL：058-327-2117 FAX：058-327-2105 Eメール：syougai@city.mizuho.lg.jp
瑞穂市生涯学習課ホームページ：http://www.city.mizuho.lg.jp/1309.htm

現地を歩こう！

周辺の状況を含め整備を行う場所を実際に歩き、目で見ていただきました。歩きながらお互いに意見を交わしたり、事務局に質問したりと、各々この広場をどうしたらよいかを真剣に考えておられました。

みなさんからは、「想像以上に広い」といった声が多く聞かれました。また、「周辺にあるせせらぎ水路や巣南グラウンドと連携できたらいいのに」といった意見も出ました。



意外と広い！
〇〇に利用したら
どうだろう？



巣南グラウンドや公衆トイレなど周辺施設も見学



物を建てられない
区域もあるのか…
(下水処理水槽埋設地)

周囲の施設と
連携するのも
大事



意見交換 ～夢や思いの共有～

現地見学の後、整備に対しての夢や思いについて意見交換を行いました。初めに学んだ市の現状や現地をみて、どのような形で整備していくのがいいのかを考えました。最後にグループ発表をして、だされた意見を共有いたしました。

Aグループ

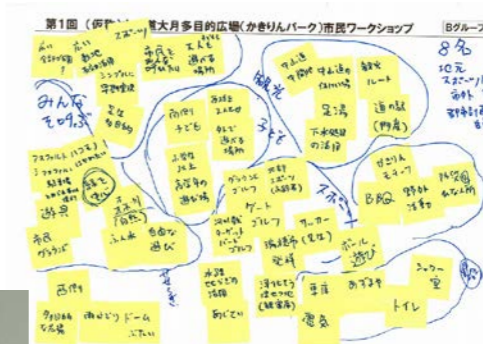


Aグループの意見整理

A 発表内容

- ターゲットは、幼児、子ども、家族、高齢者など多くの人に利用してほしい
- 子どもが体を動かして遊べ、高齢者が健康になれるような公園とスポーツの機能をもたせる
- 遊び方の違う小学生と乳幼児が安全に遊べるような施設配置を考える
- ゲートボール場は敷地内に残す
- トイレと駐車場は必須
- せせらぎ水路の東側や市民グラウンドなど周辺と連携することで、利用が増えるのではないかと

Bグループ



Bグループの意見整理

B 発表内容

- 市の花である「あじさい」を植栽してはどうか
- ボール遊びができるような芝生広場がよい
- ゲートボール場の隣に小さい子ども用の遊具を設置すると、高齢者との交流が生まれるのではないかと
- アスファルト部分は、避難所にもなるので、そのまま多目的広場とする
- 巣南グラウンドとの間に人道橋をかけ、安全に行き来できるようにする
- 雨宿りのできるドームやベンチ、道の駅や足湯、物産などの施設もあるとよい

Cグループ



Cグループの意見整理

C 発表内容

- 子どもが楽しく遊べる公園にしたい
- 新しく瑞穂市に引っ越してきた家族と地域の人の交流の場としたい
- 森、雑木林、水遊びできる場所など自由に遊べる空間があるとよいのではないかと
- 野球にこだわらず、様々なスポーツができるとうい
- 以前行われていた小学校対抗運動会なども開催できれば、地域の交流が生まれる
- 駐車場のスペースを減らすために、休日の無料バスを運行する